

令和7年度医療的ケア児に関する 調査結果について（概要）

令和8年2月5日
青森県健康医療福祉部
障がい福祉課

1 令和7年度医療的ケア児に関する実態調査の概要

目的

医療的ケア児の実態を把握し、県及び市町村において今後の医療的ケア児支援に関する施策検討のための基礎資料とするもの

調査日

令和7年10月

対象

40市町村

調査方法

質問紙

回収結果

回収率 100%

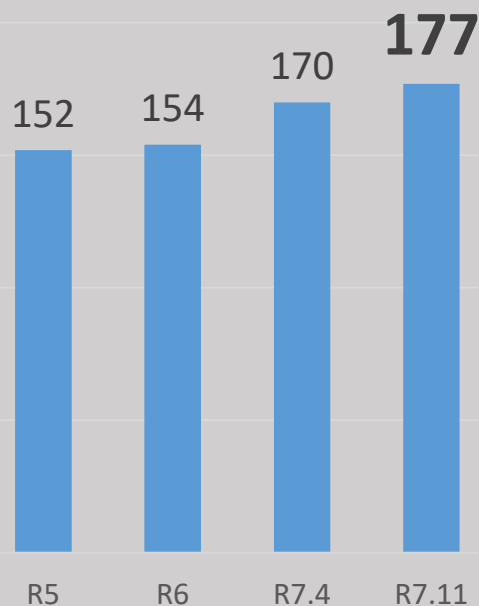
調査内容

年齢、性別、居住市町村、医療的ケアの状況、災害時個別避難計画の作成状況等

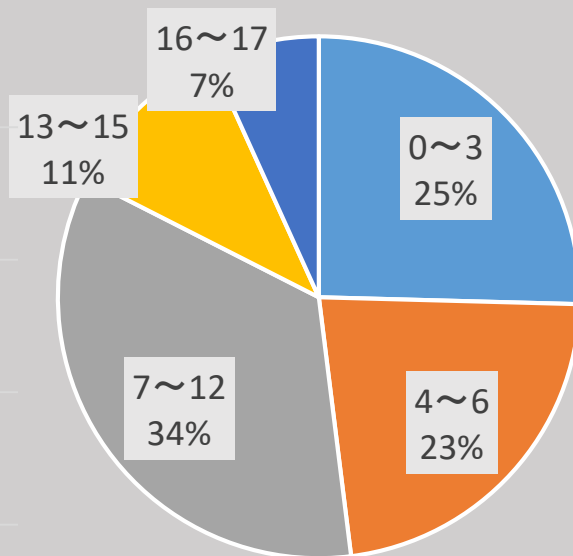
(1) 県内の医療的ケア児の現状

県内の医療的ケア児

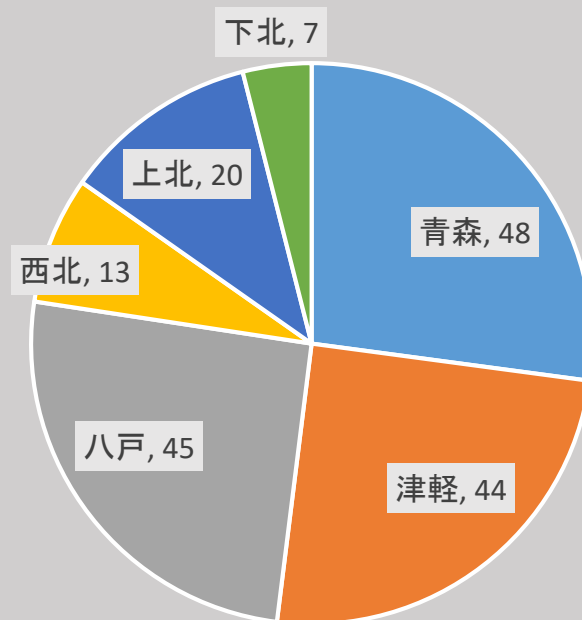
医療的ケア児総数



年齢分布

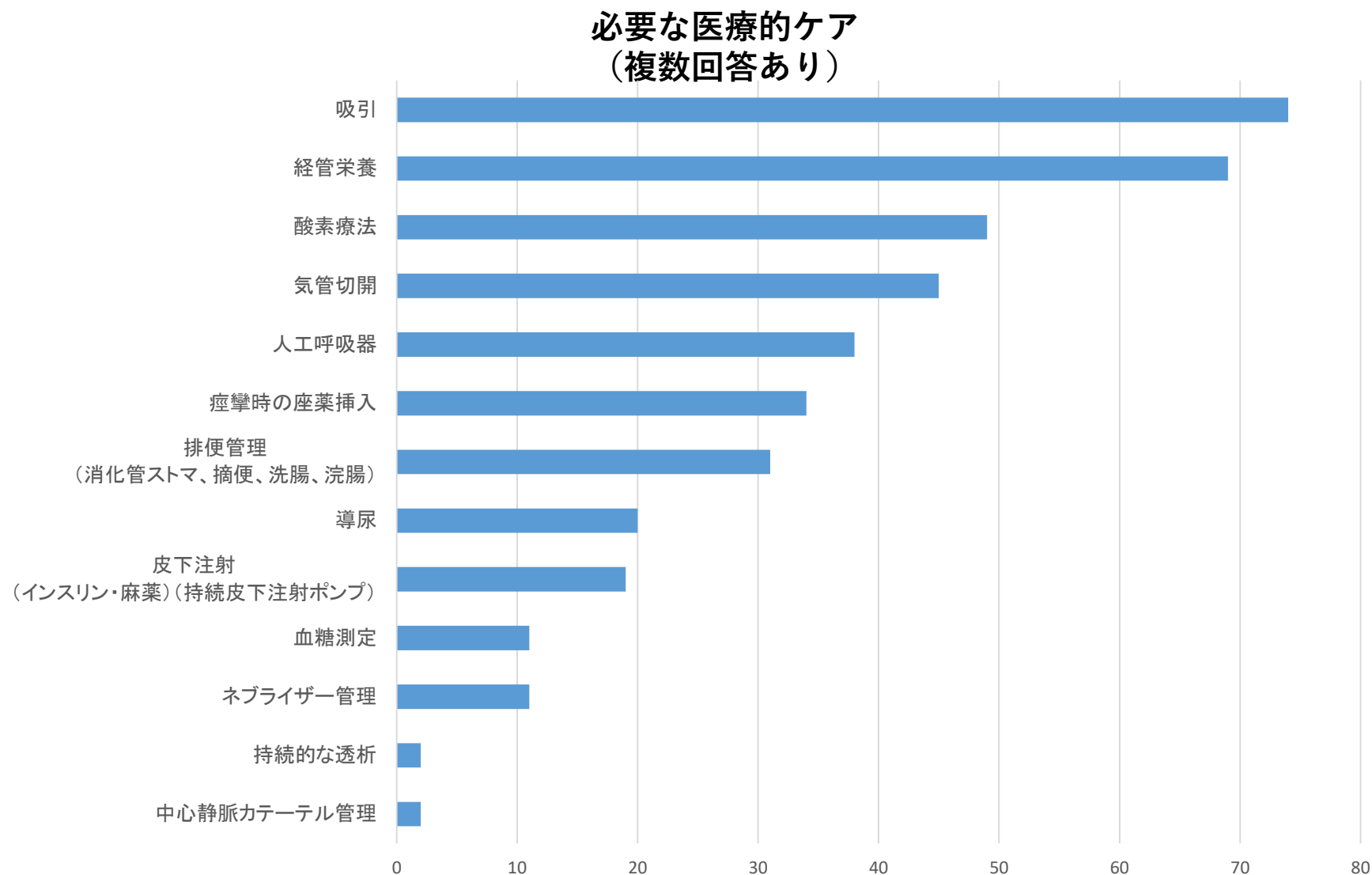


圏域分布



医療的ケア児のいる市町村数 23

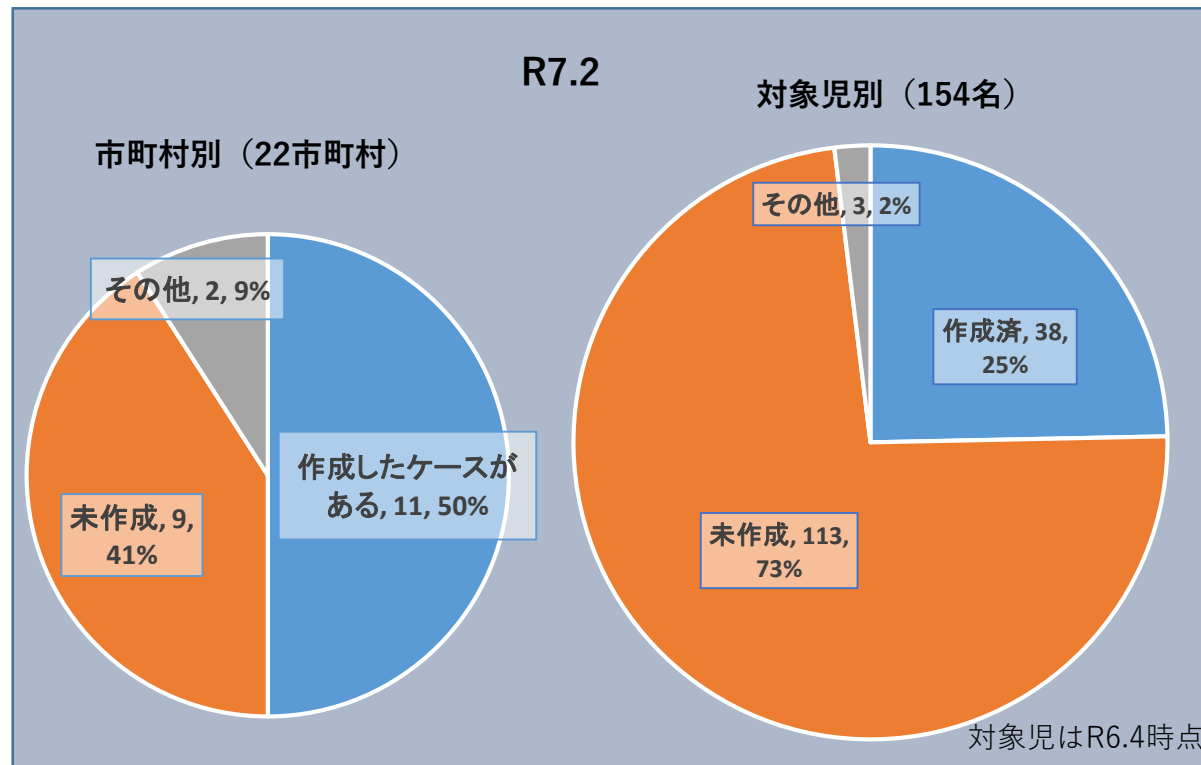
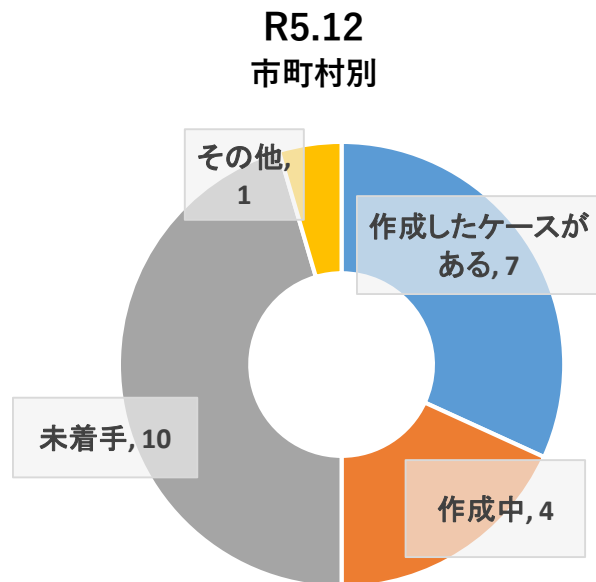
(1) 県内の医療的ケア児の現状



(2) 医療的ケア児の災害時個別避難計画

医療的ケア児の災害時個別避難計画の作成について

※医ケア児がいると回答した市町村（22）



※注「未作成」はR5調査時の「作成中」「未着手」を含む。

令和7年9月11日 令和7年第1回検討部会資料より

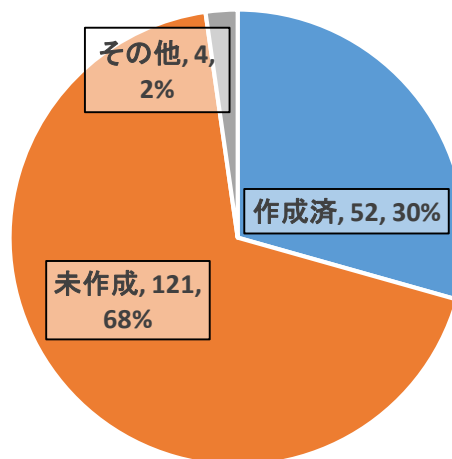
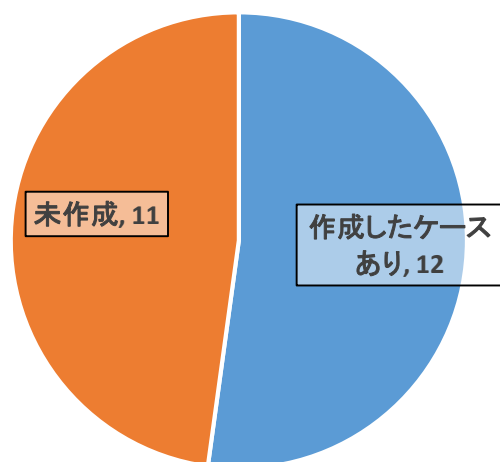
(2) 医療的ケア児の災害時個別避難計画

医療的ケア児の災害時個別避難計画の作成について

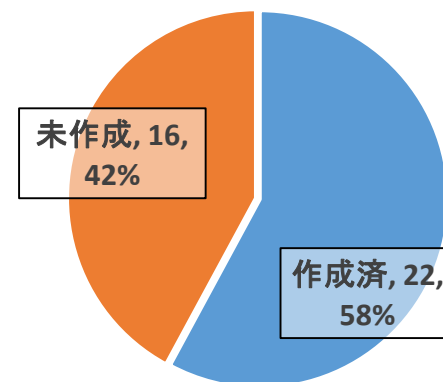
R7.11

市町村別(23市町村)

対象児別(177名)



→うち人工呼吸器利用児(38名)



R6.7.9付け青障第556号「医療的ケア児災害時個別支援計画作成マニュアルについて」により、県から市町村に対し「医療的ケア児災害時個別支援計画作成マニュアル」を活用いただき、医療的ケア児の災害時個別避難計画を作成するよう依頼。

→ 個別避難計画が必要な医療的ケア児に対して、計画を作成するようお願いしたい。

特に人工呼吸器を利用している医療的ケア児16名について、早急に計画作成をお願いしたい。
また、作成済みの対象児について避難訓練の検討をお願いしたい。

2 令和7年度医療的ケア児の支援に関する事業所等受入調査の概要

目的 医療的ケア児に関する事業所調査を実施し、県及び市町村において今後の医療的ケア児支援に関する施策検討の基礎資料とする。

実施者 小児在宅支援センター

調査対象 (1)調査方法等
訪問・通所等のサービス提供事業所及び障害児相談支援事業所等を対象に、医療的ケア児に対するサービスの提供状況等について調査した。
(2)主な調査項目
＜訪問・通所＞
サービスごと受け入れ可能事業数、受入に係る相談の有無、利用に至らなかった理由、ナースセンターの認知度、喀痰吸引等研修受講状況、受け入れるための課題等
＜相談＞
計画相談申込み等の対応状況、対応するために工夫した点、課題等

調査対象数
(回収結果)

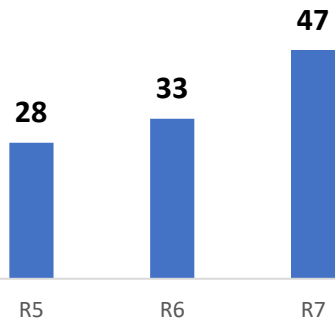
調査対象		調査票 配布数	有効 回答数	回収率
事業所	居宅介護	290	154	53.1%
	短期入所	114	71	62.3%
	児童発達支援	130	106	81.5%
	訪問看護	150	108	72.0%
	放課後等デイサービス	218	173	79.4%
	日中一時支援	138	77	55.8%
	移動支援	130	41	31.5%
	障害児相談支援	110	84	76.4%
	計	1,280	814	63.6%

調査時期 令和7年10月

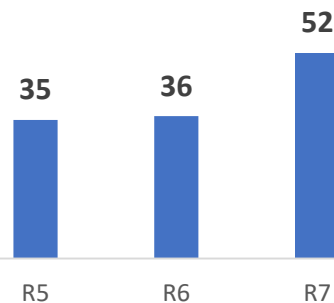
調査方法 郵送による配布、Google FormまたはFAXによる回収

(1) サービスごとと受入可能事業所数(力所)

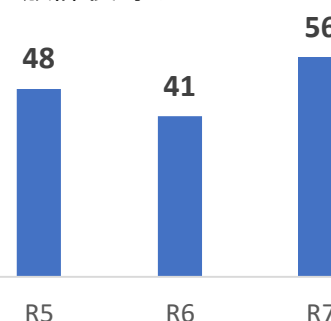
児童発達支援



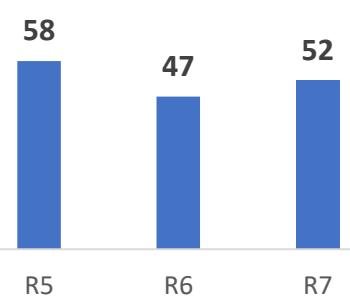
訪問看護



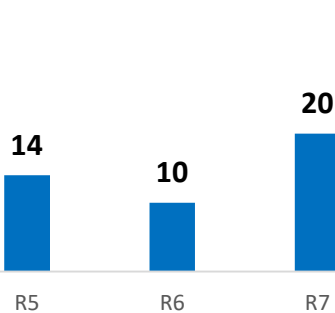
放課後等デイサービス



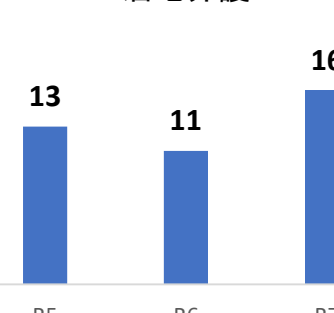
相談支援事業所



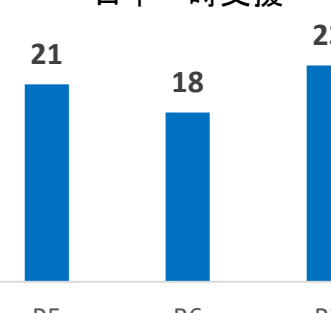
短期入所



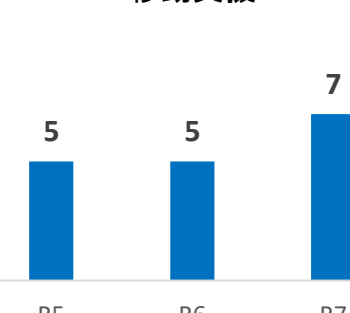
居宅介護



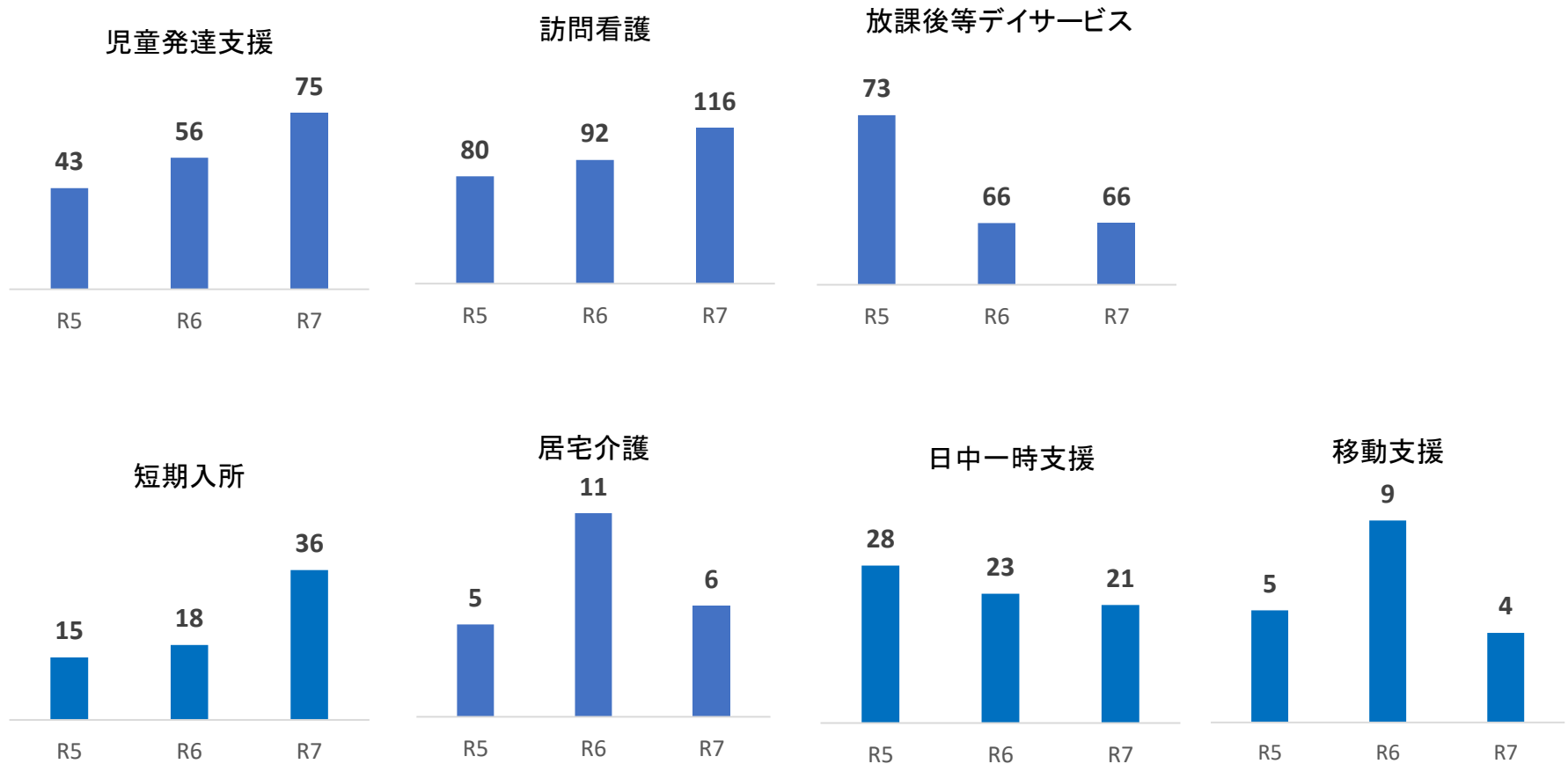
日中一時支援



移動支援

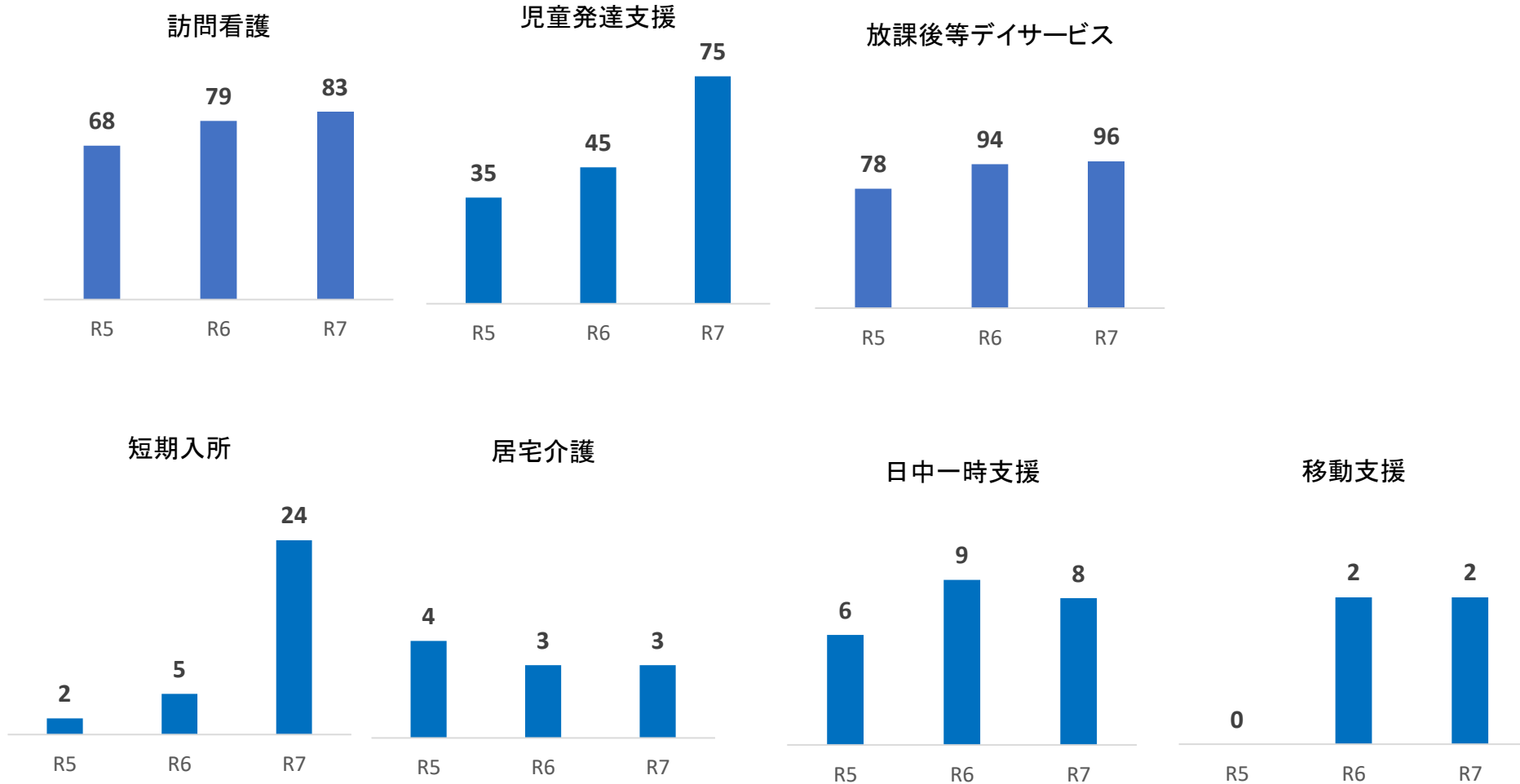


(2) サービスごとと受入可能人数(人)



※訪問看護サービスの受入可能人数は年々増加している。

(3) サービスごとに現に利用している人数(人)



※R5調査より回収率が上がっている。

※訪問看護サービスを利用している人数は年々増加している。